PAT-NO:

JP402251136A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 02251136 A

TITLE:

SEMICONDUCTOR WAFER HEAT TREATMENT DEVICE

PUBN-DATE:

October 8, 1990

INVENTOR - INFORMATION:

NAME

NATORI, HIROYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NEC CORP

N/A

APPL-NO:

JP01072532

APPL-DATE:

March 24, 1989

INT-CL (IPC): H01L021/22

US-CL-CURRENT: 29/DIG.21

### ABSTRACT:

PURPOSE: To facilitate <u>control</u> of impurity diffusion on the surface of each

semiconductor wafer as well as the uniform progress of an oxidation film thickness and the like by controlling the flow rate of a gas which is suppiled

to respective zones in a reactor tube.

CONSTITUTION: A plurality of semiconductor waters 8 are lined up and loaded

in a boat 9 that is inserted in a reactor tube 2 and a gas from a gas feeder 4a

is supplied through gas supply ports 5 of three pieces of gas feeding tubes

which supply the gas independently to respective front, center, and rear zones

of the semiconductor wafers 8. On the basis of electric signals with respect

to the gas concentration of each zone which is detected by a gas concentration

<u>detector</u> 11, the flow rate of the gas that is supplied to respective zones is

controlled by the gas feeder 4a. Impurity diffusion on the surface of each

semiconductor wafer as well as the uniform progress of an oxidation film thickness and the like are thus <u>controlled</u> easily.

COPYRIGHT: (C)1990, JPO&Japio

# ⑩ 日本 図 特 許 庁 (JP)

10 特許出願公開

#### <sup>®</sup>公開特許公報(A) 平2-251136

@Int. Cl. 5

鐵別記号

庁内整理番号

每公開 平成2年(1990)10月8日

H 01 L 21/22

 $\mathbf{D}$ 7738-5F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

6 発明の名称

半導体ウエハー熱処理装置

頭 平1-72532 创特

題 平1(1989)3月24日 ❷出

仍辩 明

**フ** 

東京都港区芝 5 丁目33番 1 号

包出 頭 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

20代理人 弁理士 内原

発明の名称

・半導体ウェハー無処理装置

### 特許請求の範囲

半導体ウェハー熱処理装置の炉芯管内に挿入さ れたポートに複数枚が整列積載された半導体ウェ バーのフロンド,センター。リアの各ゾーンのガ ス濃度を検出するガス濃度検出器と、そのガス造 皮検出器からの前記各ゾーンのガス譲渡に関する 電気信号をもとに前記各ゾーンにガスを供給し流 量制御するガス供給装置とを含むことを特徴とす る半導体ウェハー無処理装置。

### 発明の詳細な説明

### 〔産業上の利用分野〕

本発明は半導体ウェハー無処理装置に関し、特 に炉芯管へのガス供給流量制御手段を備えた半導 体ウェハー無処理装置に関する。

〔従来の技術〕

後来、この種の半導体ウェハー無処理装置は、 炉芯管へのガス供給流量制御手段として、第5回 の側断面図及びそのC-C厨面図である第6図に 示すように、あらかじめ定められた半導体ウェハ 一条処理シーケンスに従った流量のガスを、マス プローコントローラで制御されるガス供給装置 4 から単一のガス供給管3を通し、炉芯管2の閉口 端の単一のガス供給孔5から炉芯管2内に供給す るようになっていた。

又、炉芯管2の外側には半導体ウェハー8を加 熱するヒーター1を備え、半導体ウェハー8仕ポ ート9に並べられ、ポート9はガイドルール13に 沿って移動するカンチレバー12上に載置されてい る. カンチレパー12は伊芯管2のキャップ18を賃 通し、カンチレバー支持部15を介してカンチレバ 一駆動装置14により移動し、ポート9の炉芯管2 への出し入れを行っていた。

### (発明が解決しようとする羅題)

上述した従来の半導体ウェハー無処理装置は、

**-** 1 -.

- 2 -

その炉芯管へのガス供給流量制御手段が、あらか しめにあられた流量をでのガス供給を置いた流量をでのガス供給をでのガスは がス供給孔から炉芯管内に供給するは、ボート形 いるため、炉芯管内のガス濃度分布は、ボート形 状、半導体ウェハー積載にでの内一なガス濃 度分布状態を作り出すことが容易ではなかった。

そのために、半導体ウェハー表面の不純物拡散 及び酸化膜厚等の均一な進行を制御することが非 常に困難になるという欠点がある。

### (課題を解決するための手段)

本発明は、半導体ウェハー熱処理装置の炉芯管内に挿入されたボートに複数枚が整列積載された半導体ウェハーのフロント、センター、リアの各ゾーンのガス濃度を検出するが見ば、そのガス濃度に関するが、とに前記名グーンにガス度に関し、温度に関するガス供給装置とを含む半導体ウェハー熱処理装置である。

- 3 -

置 4 a は前記各ゾーンに供給するガス流量を制御する。各ゾーンのガス 濃度による電気信号は、ガス 濃度検出器 11又はガス供給装置 4 a に設けられた増 幅回路手段により増幅され、3 本のガス供給管3 のそれぞれのガス濃度が同じになるように、ガス 供給装置 4 a において電磁井を介してガス供給量を 制御する。

第3図は本発明の第2の実施例の縦断面図、第4図はカンチレバーが挿入されていない状態での第3図のB-B断面図である。

この実施例では、ガス供給管3が半導体ウェハー8の上部及び下側部2箇所の計3箇所に設けるこれ、3方向からガスを炉芯管2内の前記各ゾーンのガスを炉芯管2内の前記各ゾーンのガス被出孔6を有するガス被出管7を2箇所に設け、計6点で検出可能であるため、前記各ゾーンに供給するガスの流量をより正確に制御できる利点がある。

# (発明の効果)

以上説明したように本発明は、伊芯管内の各ソ

(実施例)

次に本発明について図面を参照して説明する。 第1図は本発明の第1の実施例の側断面図、第 2図はそのA-A断面図である。

供給された前記各ゾーンのガス濃度は、カンチレバー12に固定された3本のガス検出管7のそれぞれの先繼のガス検出孔6から採取されるガスをガス濃度検出器11によって検出する。

ガス濃度検出器 11で検出された前記各ゾーンのガス濃度は、電気信号となってガス供給装置 4 a に伝達される。その電気信号をもとに、ガス供給装

- 4 -

ーンに供給するガスの流量を制御することによって、炉芯管内での均一なガス分布状態を作り出す ことができ、半導体ウェハー表面の不純物拡散及 び酸化膜厚等の均一な進行を制御することが容易 となる効果がある。

# 図面の簡単な説明

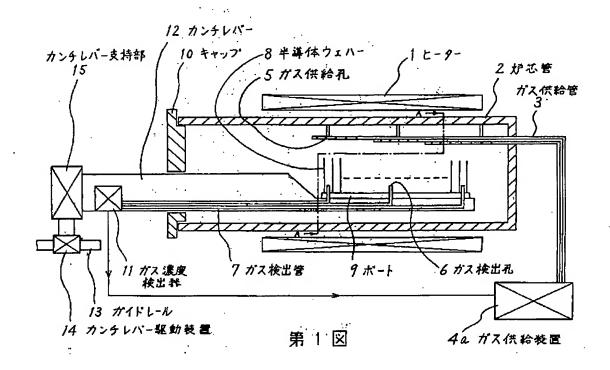
第1団は本発明の第1の実施例の関断面図、第2団はそのA-A断面図、第3団は本発明の第2の実施例の縦断面図、第4団はそのB-B断面図、第5団は従来の熱処理装置の側断面図、第6団はそのC-C断面図である。

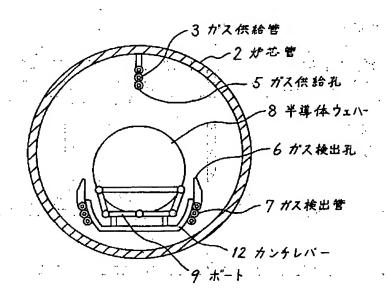
1 … ヒーター、2 … 炉芯管、3 … ガス供給管、4 、 4 a … ガス供給装置、5 … ガス供給孔、6 … ガス 放出孔、7 … ガス 放出管、8 … 半導体ウェハー、9 … ボート、10 … キャップ、11 … ガス 洪度放出器、12 … カンチレバー、13 … ガイドレール、14 … カンチレバー取動装置、15 … カンチレバー支持

代理人 弁理士 内 原 智

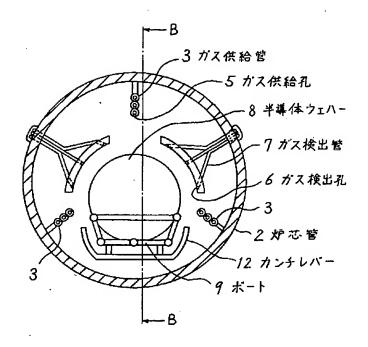
-5-

- 6 -

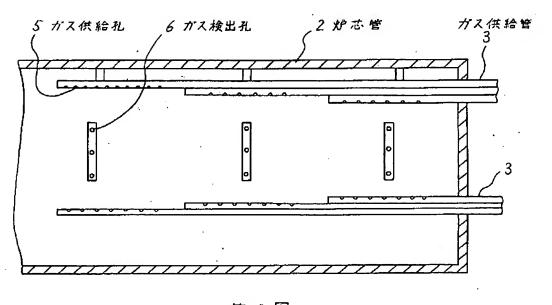




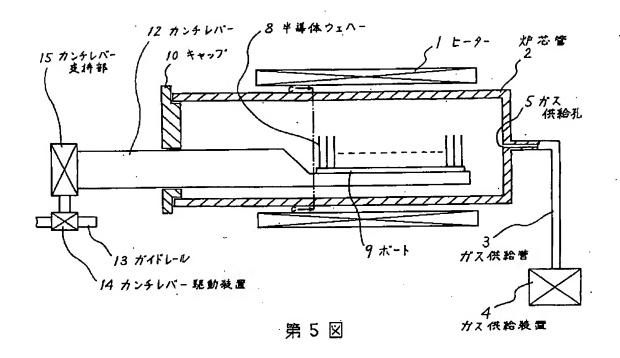
第2図

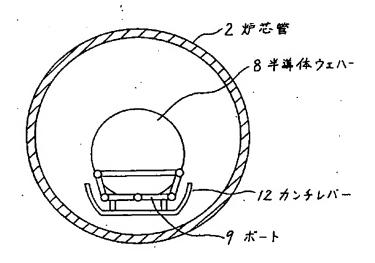


第3図



第4図





第6図